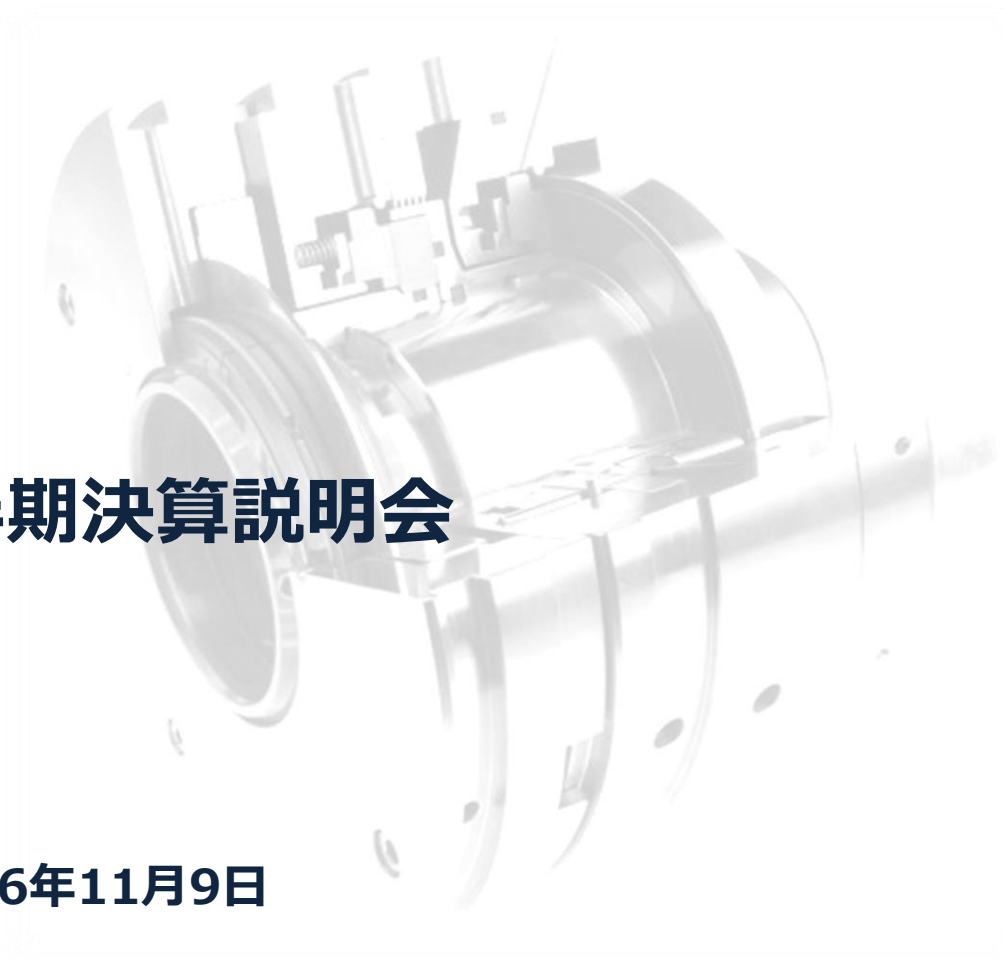


イーグル工業株式会社 2017年3月期 | 第2四半期決算説明会

2016年11月9日

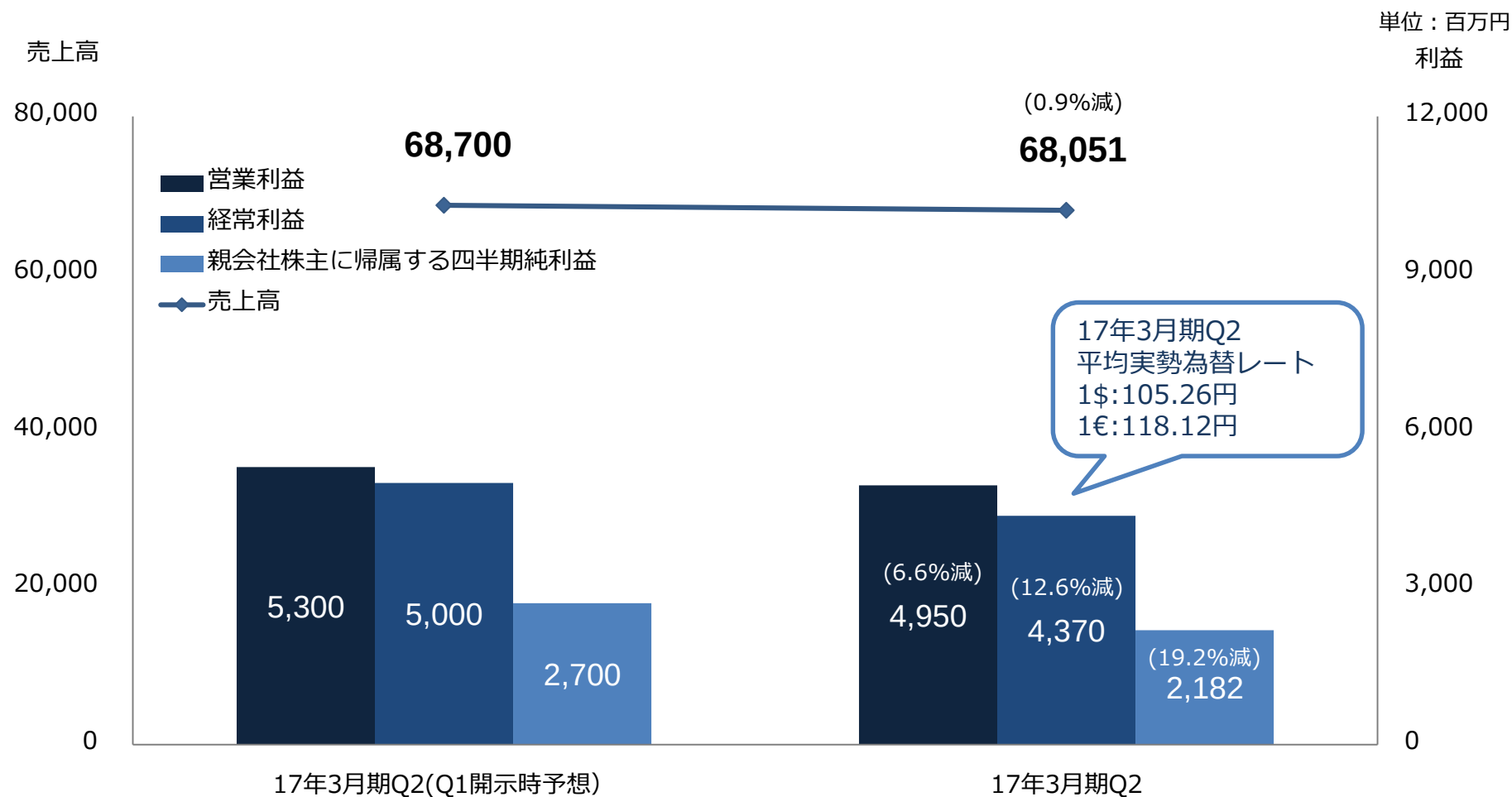


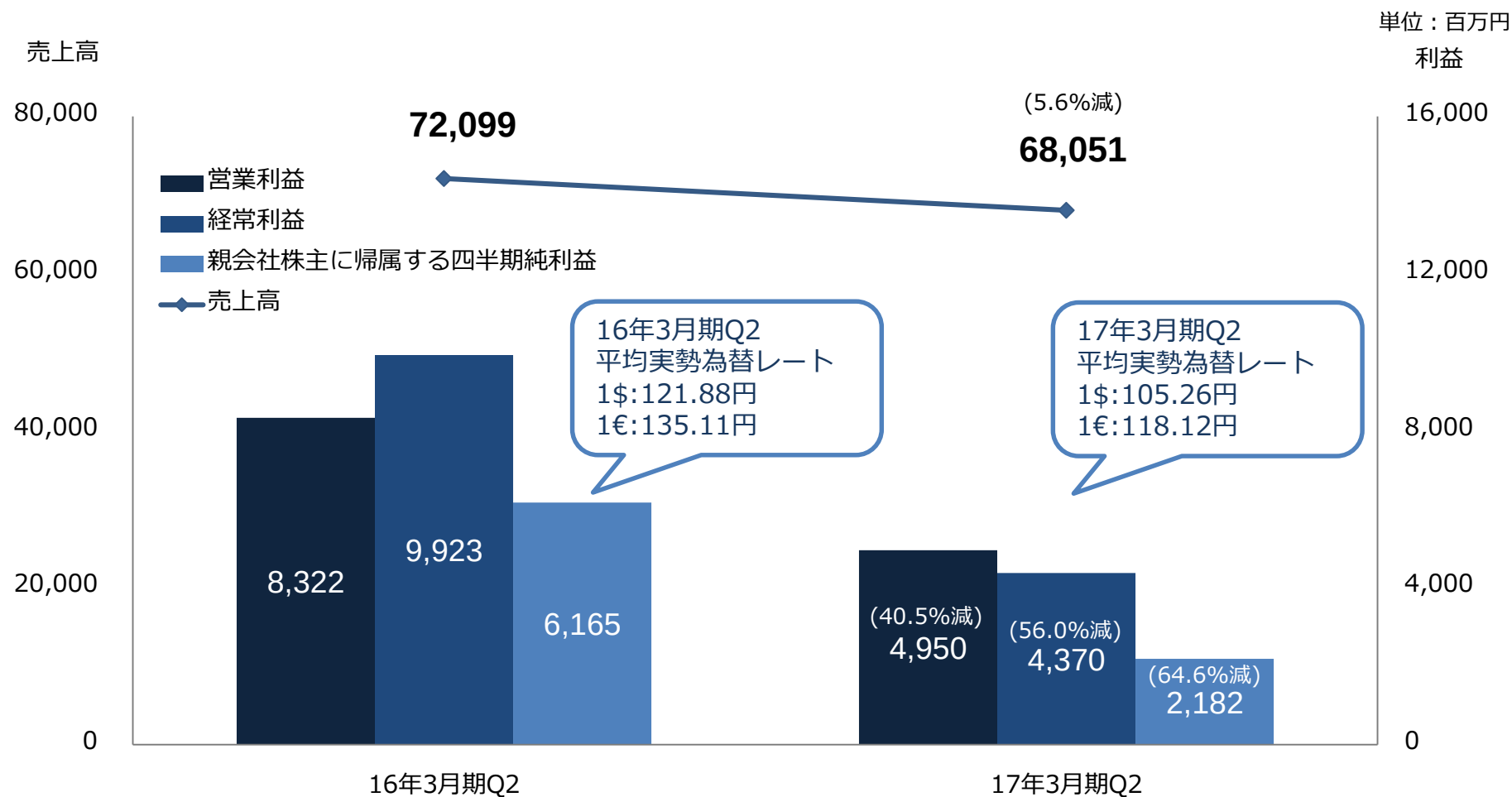
1. 業績報告

- (1) 第2四半期決算の概要
- (2) 17年3月期の業績予想

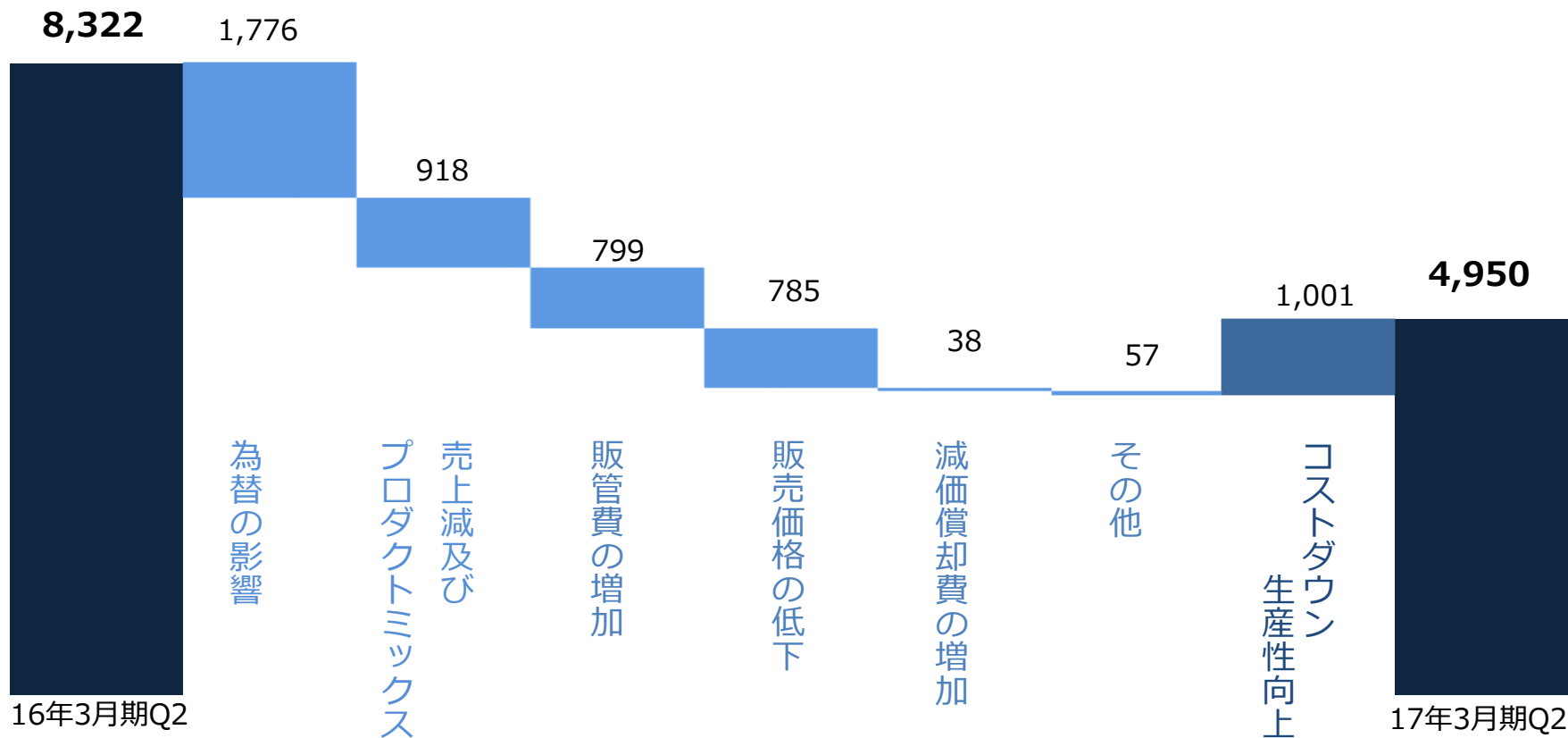
2. 各事業別の取組み

- (1) 自動車・建設機械業界向け事業
- (2) 一般産業機械業界向け事業
- (3) 舶用業界向け事業
- (4) 航空宇宙業界向け事業





単位：百万円



単位：百万円

		16年3月期 Q2実績	17年3月期 Q2実績	増減	前年同期 対比
自動車・建設機械	売上高	43,018	43,511	493	1.1%
	営業利益	4,372	3,474	▲898	▲20.5%
一般産業機械	売上高	17,003	15,111	▲1,891	▲11.1%
	営業利益	1,943	1,260	▲682	▲35.1%
船用	売上高	7,745	5,188	▲2,556	▲33.0%
	営業利益	1,971	65	▲1,905	▲96.7%
航空宇宙・光工学	売上高	4,333	4,239	▲93	▲2.2%
	営業利益	14	156	141	948.2%

1. 業績報告

(1) 決算の概要

(2) 17年3月期の業績予想

2. 各事業別の取組み

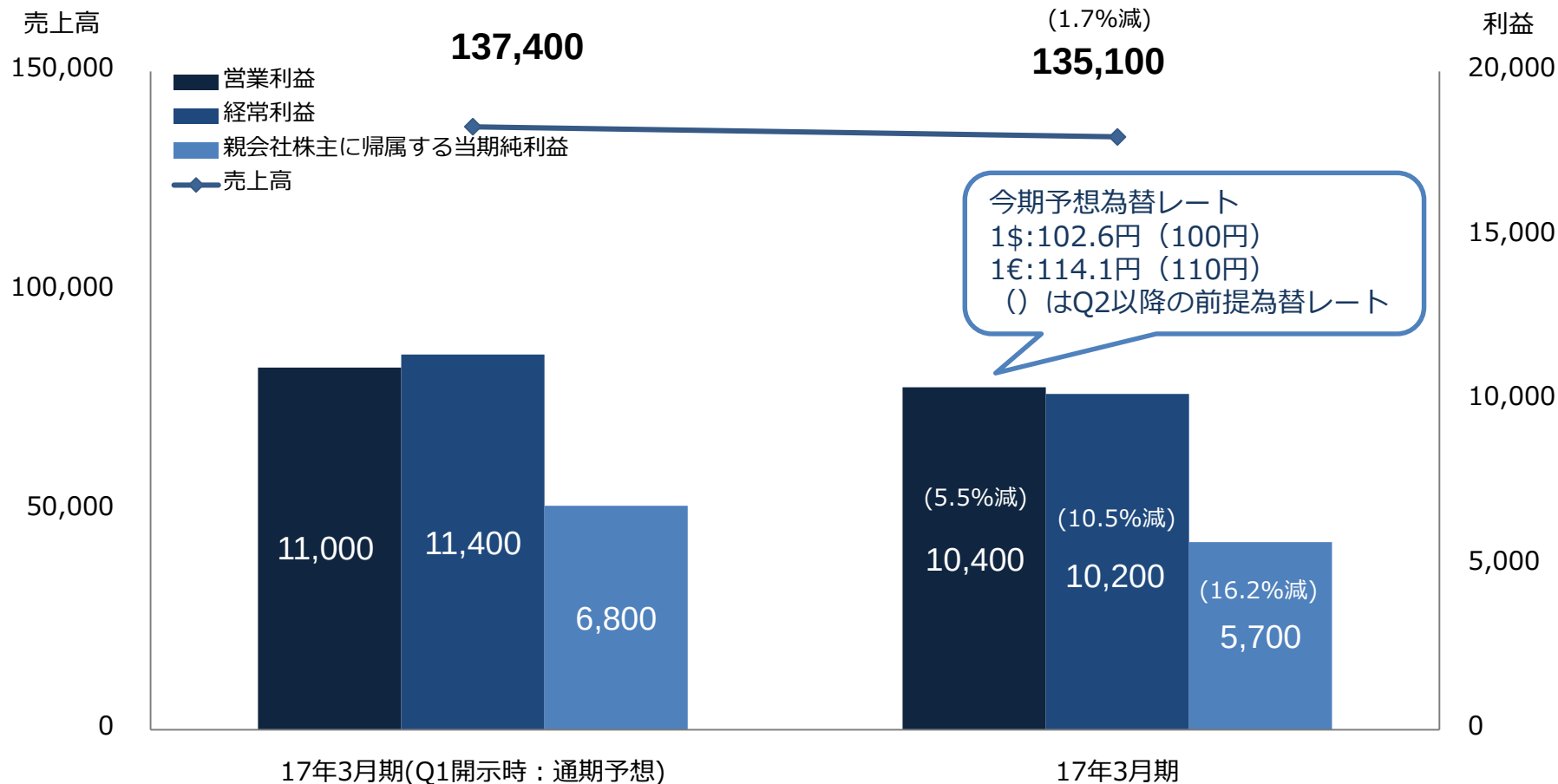
(1) 自動車・建設機械業界向け事業

(2) 一般産業機械業界向け事業

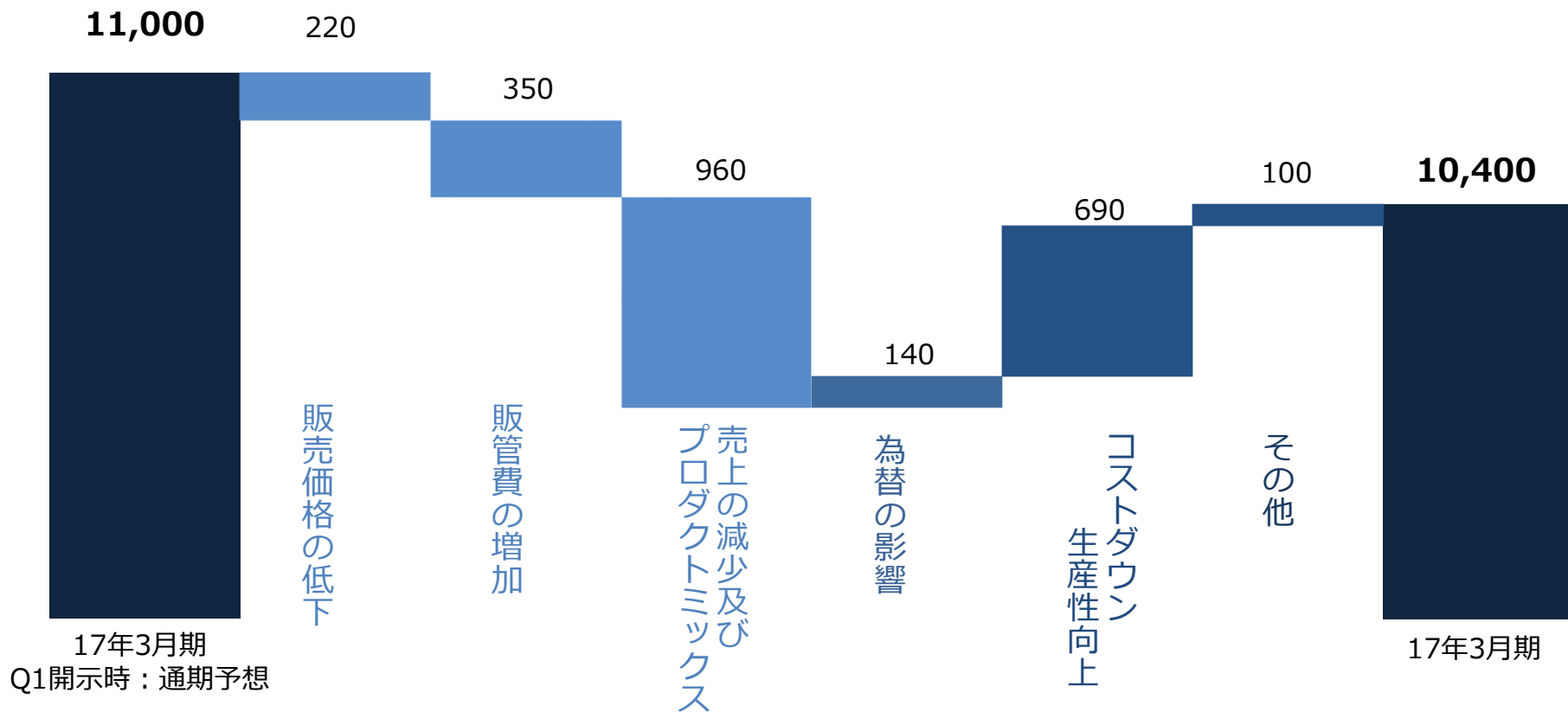
(3) 船用業界向け事業

(4) 航空宇宙業界向け事業

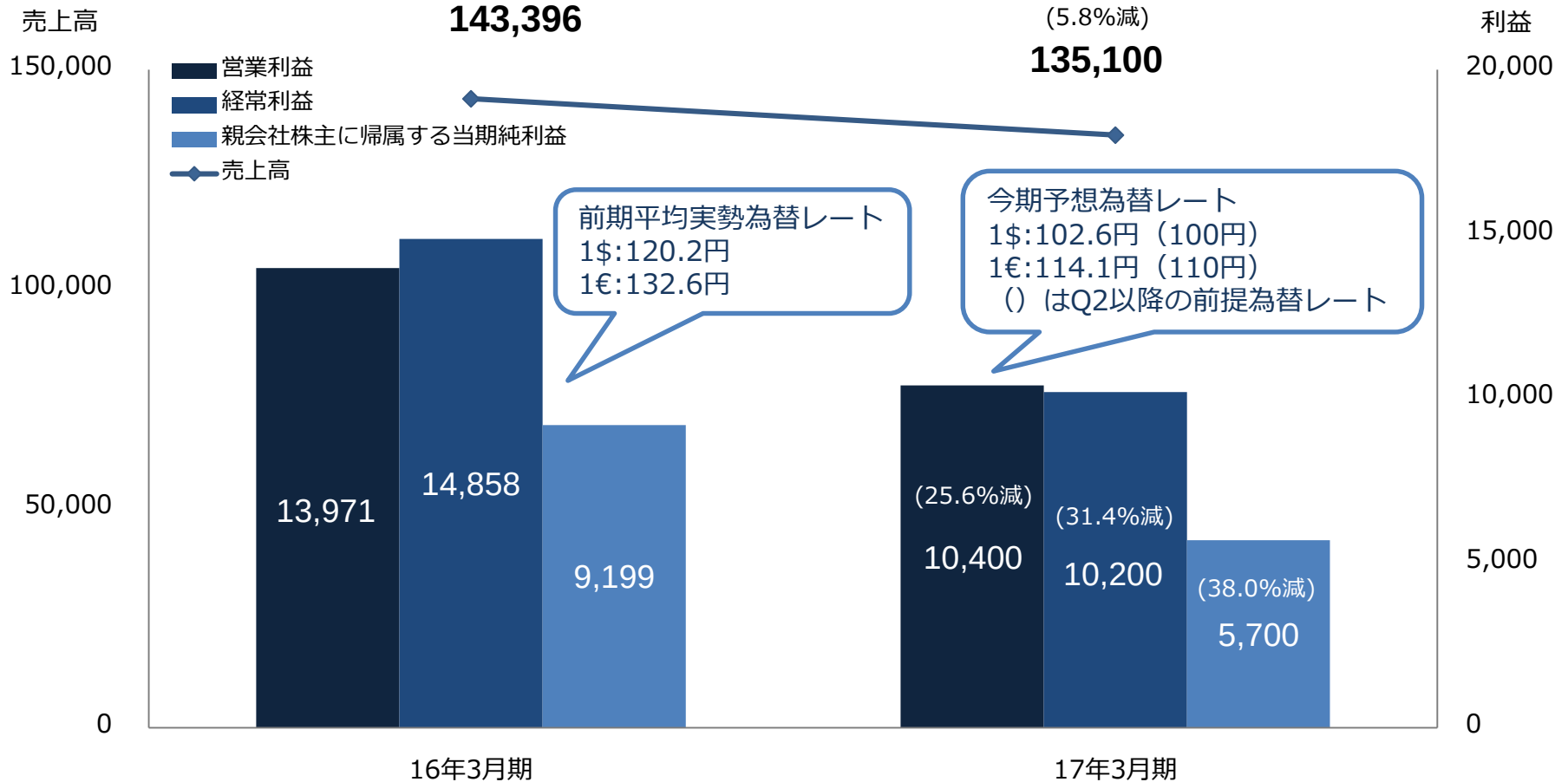
単位：百万円



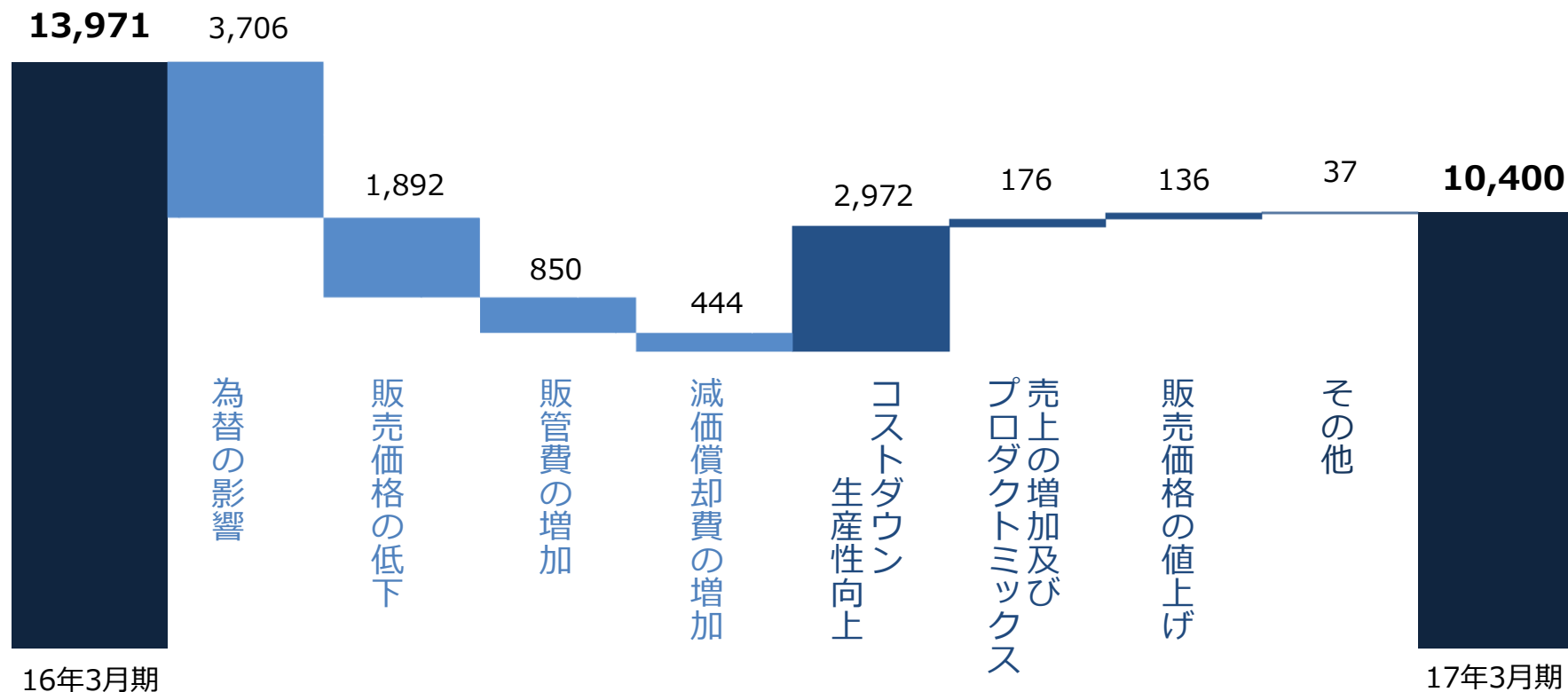
単位 : 百万円



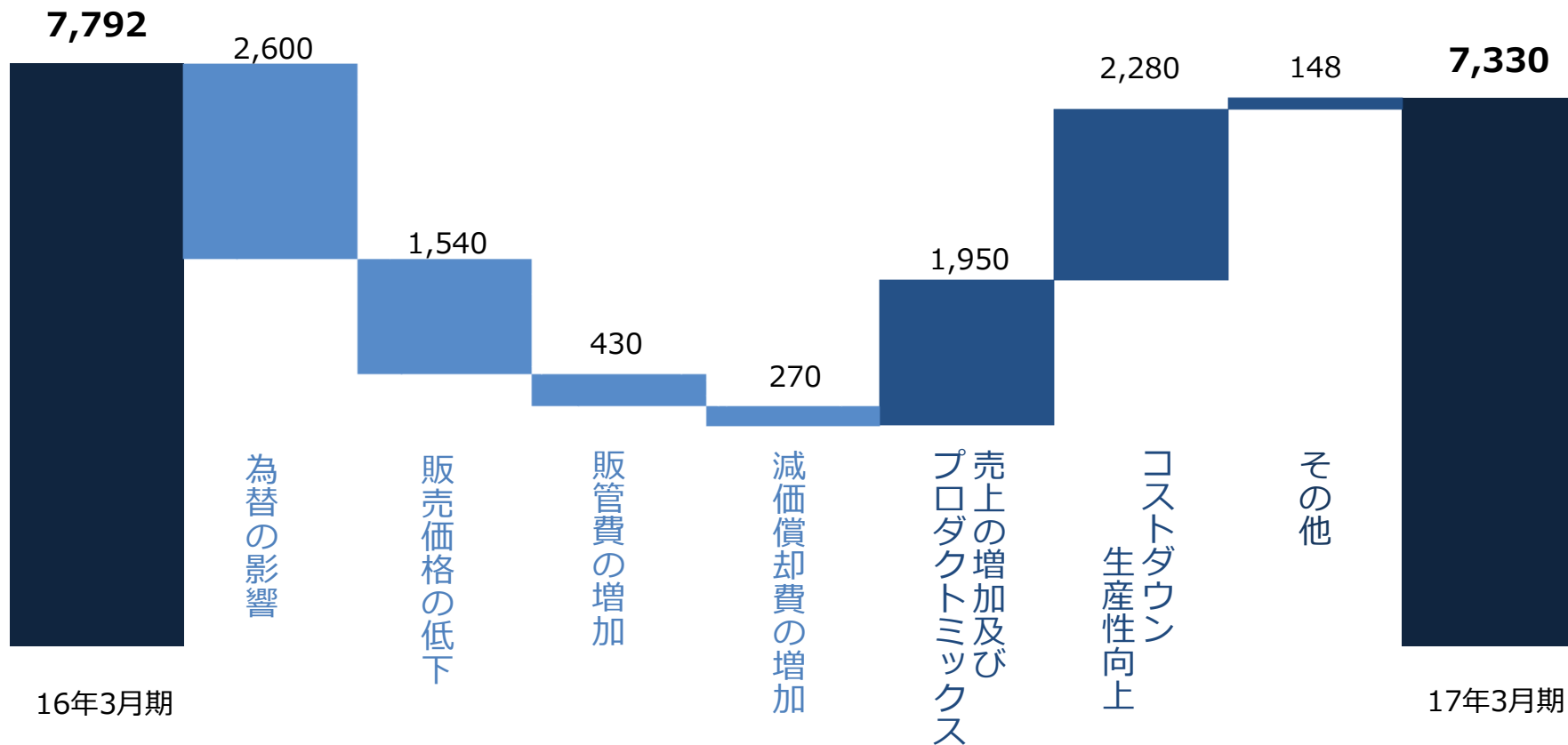
単位：百万円



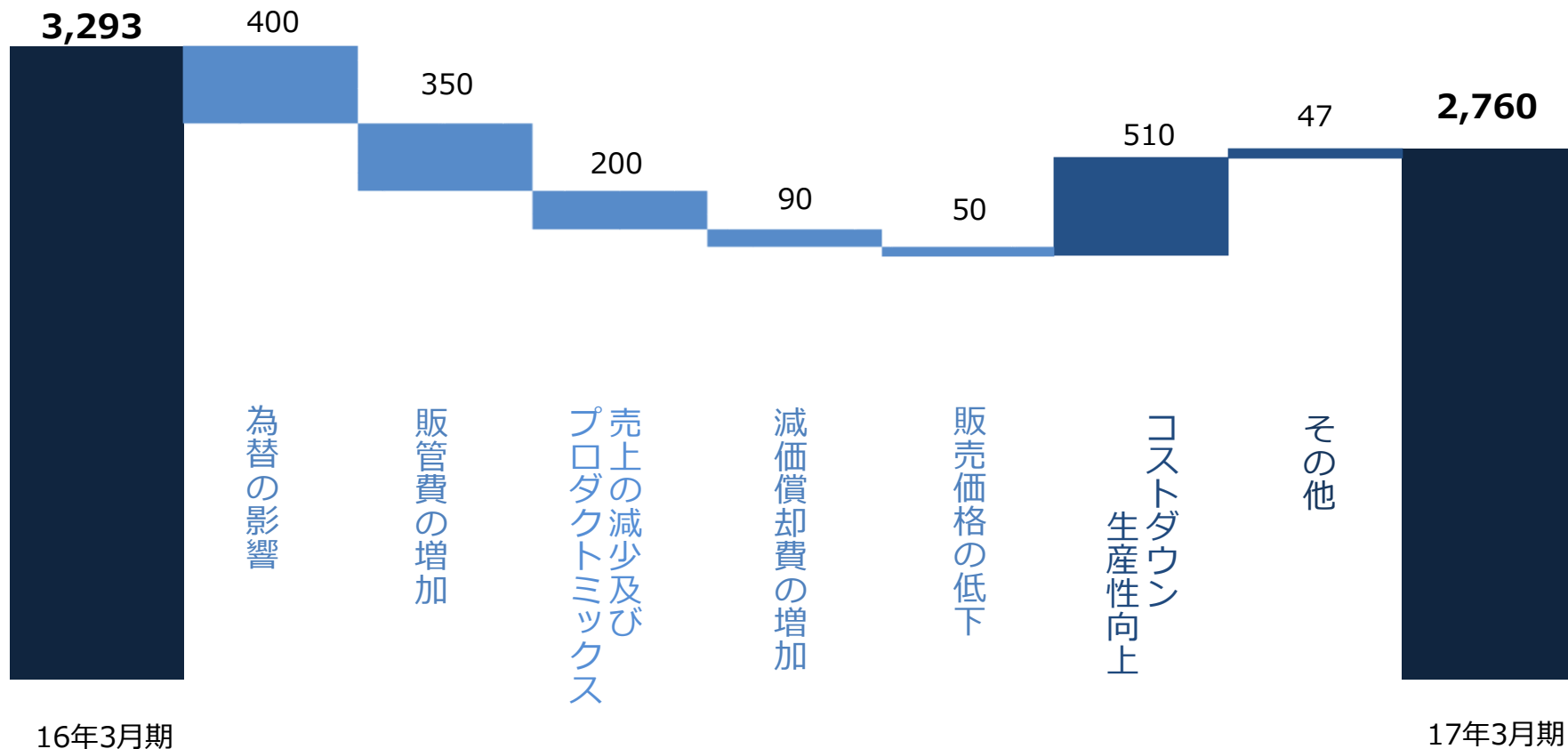
単位：百万円



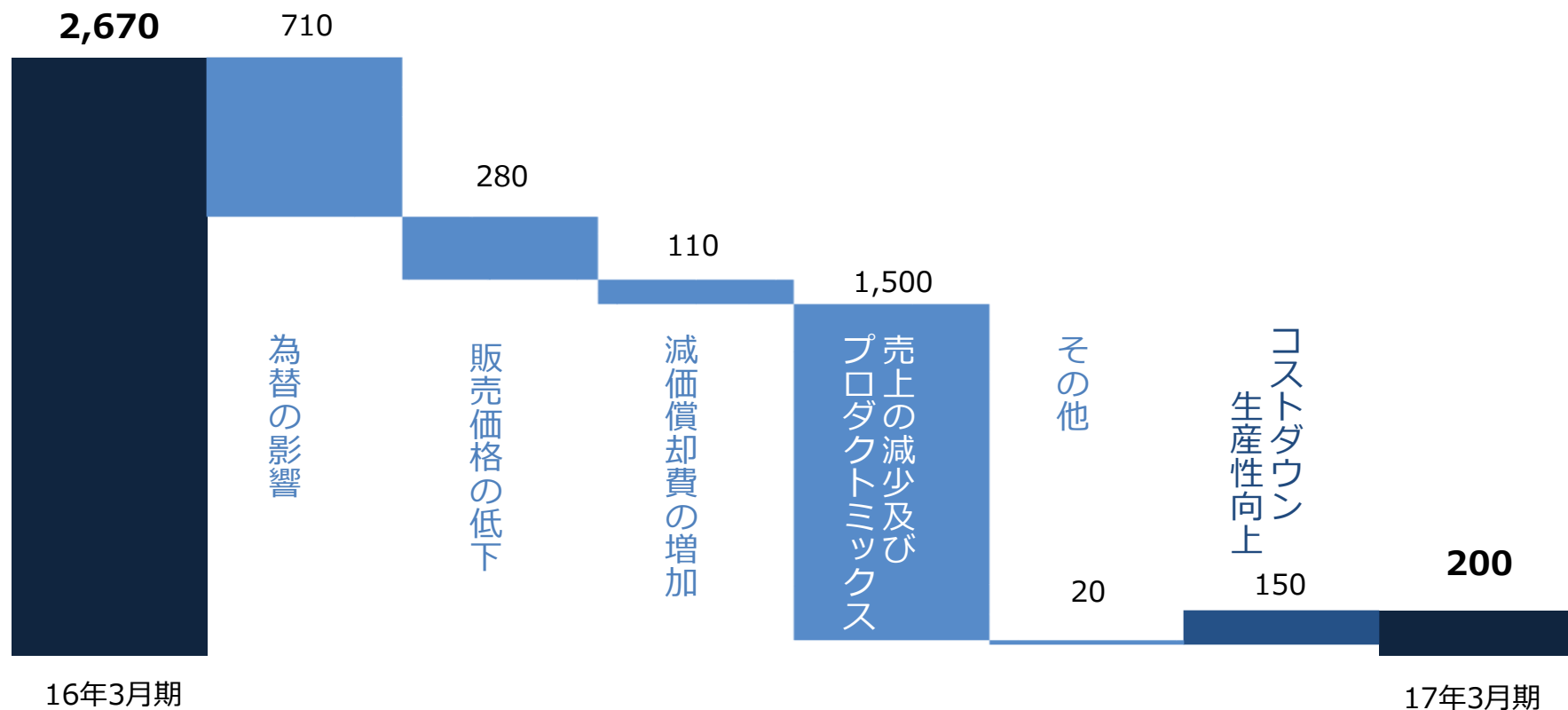
単位：百万円



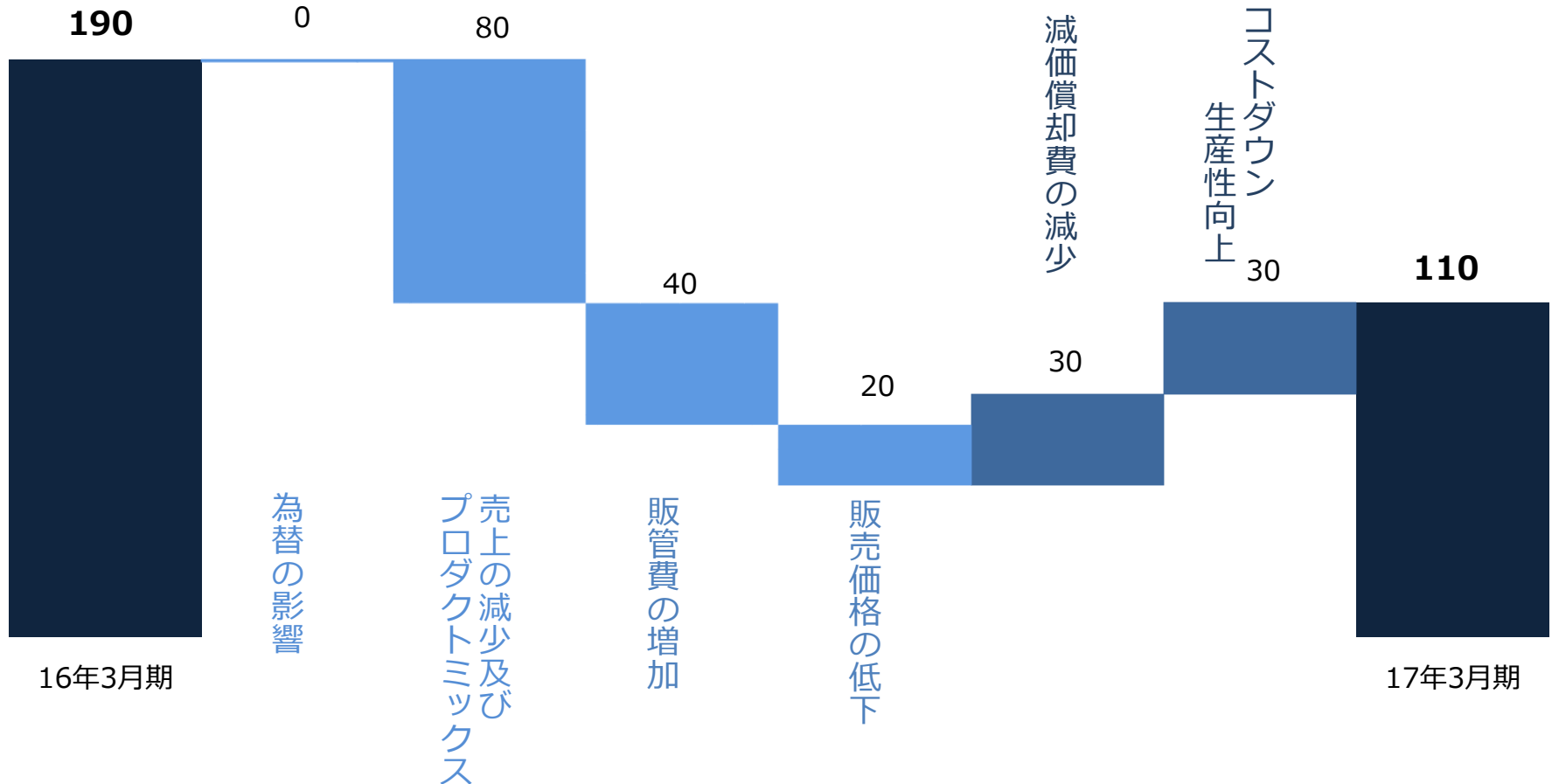
単位：百万円



単位：百万円



単位：百万円

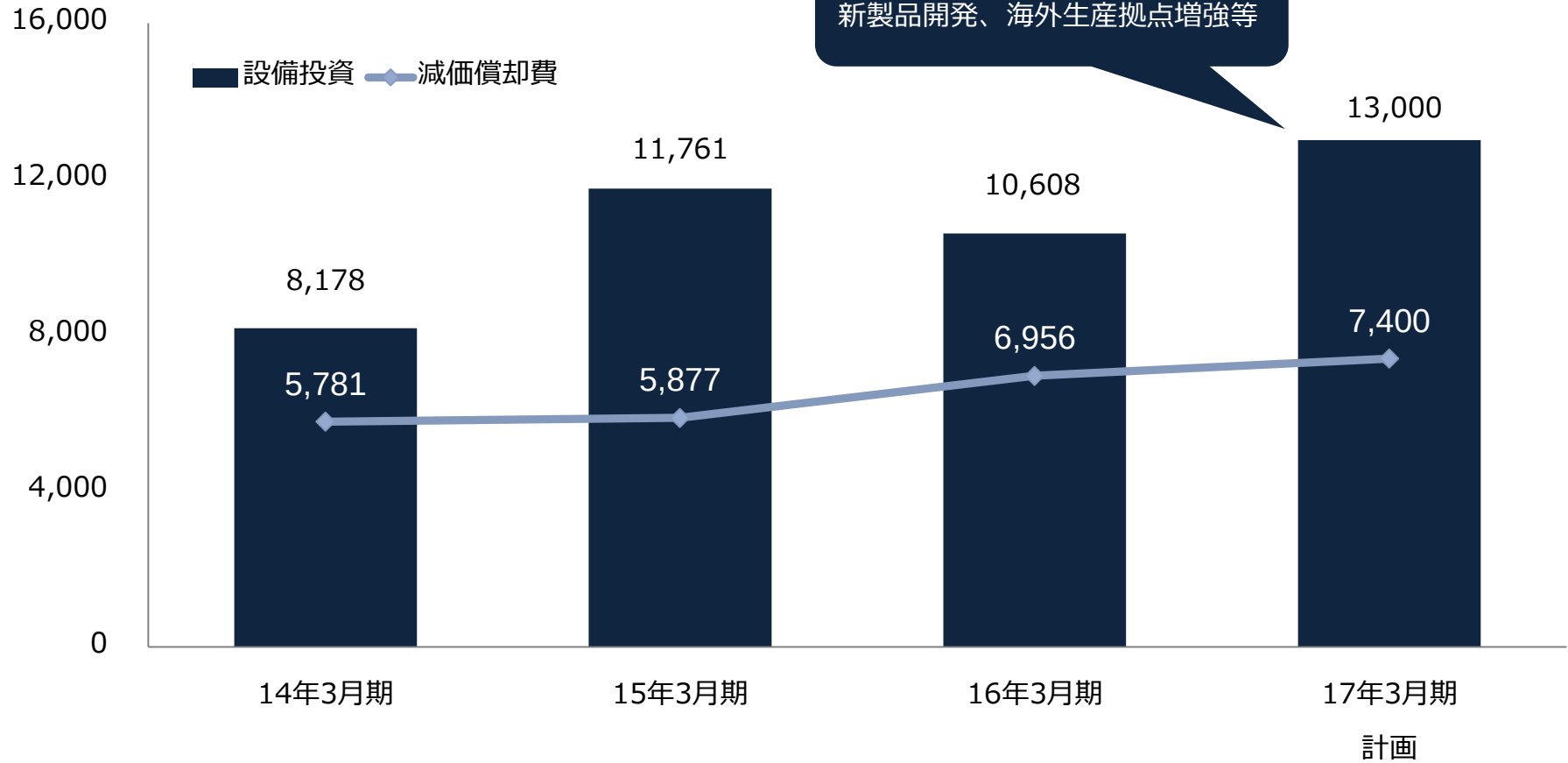


単位：百万円

		16年3月期 実績	17年3月期 業績予想	増減	前期対比
自動車・建設機械	売上高	87,664	86,800	▲864	99.0%
	営業利益	7,792	7,330	▲462	94.1%
一般産業機械	売上高	32,660	30,200	▲2,460	92.5%
	営業利益	3,293	2,760	▲533	83.8%
船用	売上高	13,889	10,600	▲3,289	76.3%
	営業利益	2,670	200	▲2,470	7.5%
航空宇宙・光工学	売上高	9,181	7,500	▲1,681	81.7%
	営業利益	190	110	▲80	57.9%

	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期 予想
配当金 (円)	14	25	40	45	45
配当性向 (%)	14.9	16.2	20.3	23.7	38.5
1株当たり純利益 (EPS)	93.73	154.09	197.00	189.71	116.90
ROE (%)	10.9	14.7	15.6	14.0	9.0
ROA (%)	3.9	5.6	6.4	5.9	3.8
自己資本比率 (%)	37.3	39.0	42.2	42.3	41.9
ROIC (%)	—	7.1	8.0	7.7	5.9

単位：百万円



1. 業績報告

(1) 決算の概要

(2) 17年3月期の業績予想

2. 各事業別の取組み

(1) 自動車・建設機械業界向け事業

(2) 一般産業機械業界向け事業

(3) 船用業界向け事業

(4) 航空宇宙業界向け事業

☆：生産予定

	ウォーター ポンプシール 	カーエアコン シール 	カーエアコン コントロール バルブ 	ソレノイド バルブ 	バルブ・ アクチュエータ 	フローティング シール 
日本	○	○	○	○		○
中国	○	○	○	○	○	○
韓国	○	○				
台湾	○			○	○	
インド	○					
タイ	○	○		○	○	
インドネシア	○	☆			○	○
フランス			○			
オランダ	○	○				
ハンガリー					○	
メキシコ	☆	☆	☆	○		

■ 未経験の自然災害（大地震、大津波、大型台風、ゲリラ豪雨、豪雪、地滑り、火山噴火）を想定した現BCMの見直し・強化

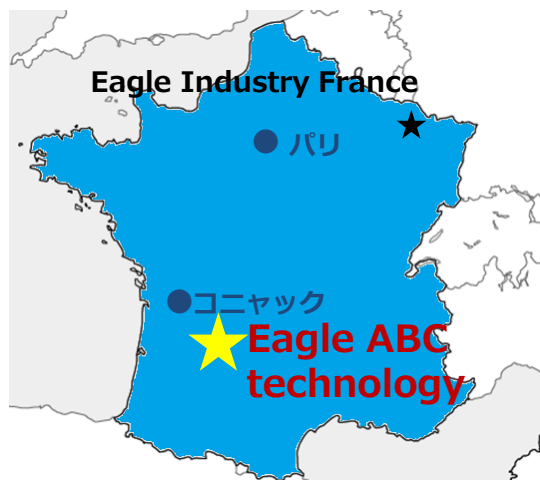
具体的検討事項

- （１）従業員・家族の安全確保のためのルール再整備
- （２）被災から復旧までの期間目標の再設定
- （３）減災対策の徹底（設備、電気・ガス・水道）
- （４）在庫量の精査（在庫削減施策とのバランス）
- （５）生産の更なる分散化・予備型の保有
- （６）調達先の複数化・代替部材確保

機器製品増産に向けモールドコイル生産会社のEagle ABC Technologyの 現工場リニューアル・第2工場建設（2017年度完了）

Eagle ABC Technology概要

所在地	ボルドー地域・コニャック村
売上高	17百万€（約20億円）
従業員数	180名
生産品目	モールドコイル(CES,制御弁用)



現工場：リニューアル予想図



第2工場：完成予想図



1. 業績報告

(1) 決算の概要

(2) 17年3月期の業績予想

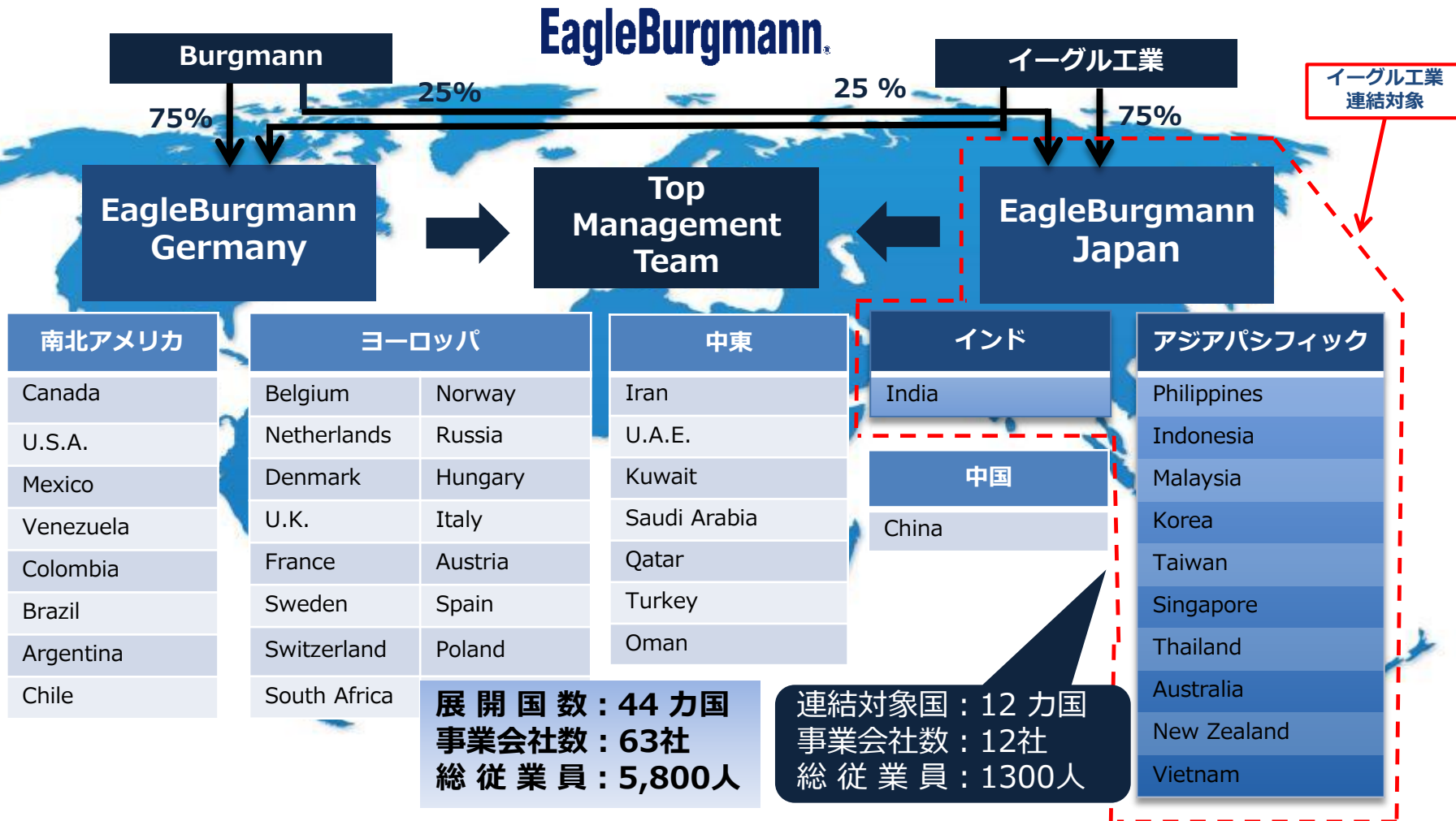
2. 各事業別の取組み

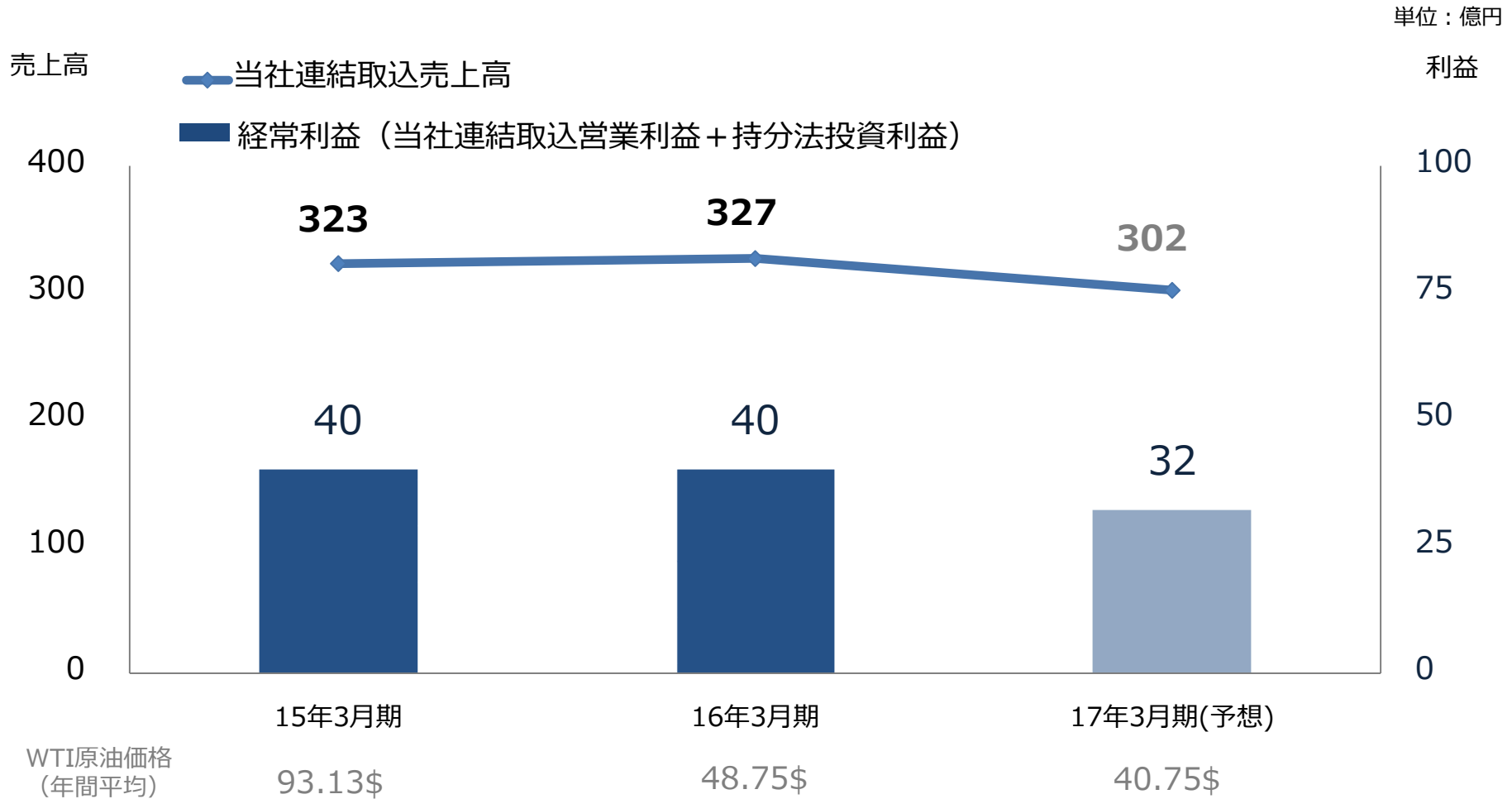
(1) 自動車・建設機械業界向け事業

(2) 一般産業機械業界向け事業

(3) 舶用業界向け事業

(4) 航空宇宙業界向け事業



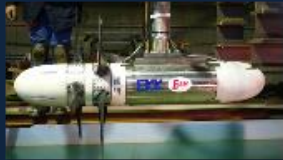


発電

発電機キ一技術・発電効率向上

再生可能エネルギー発電

- 潮力発電（海）



※NEDO委託事業



発電装置大径メカニカルシールを使用

- 小規模水力発電（河川）



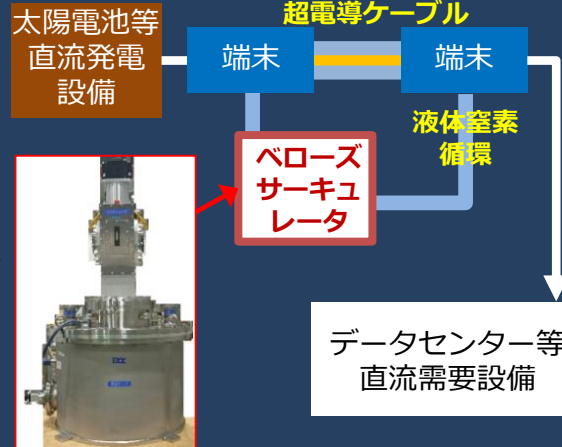
小規模水力発電機に低トルクシールを使用

送電

送電ロス低減

高温超電導送電ケーブル

- 超電導送電システム



超電導送電実験設備
（中部大学）



ユーザー

電力貯蔵・省エネ

太陽光発電設備

- フライホイール蓄電システム



磁性流体シールユニット



公益財団法人鉄道総合
技術研究所プレスリリースより



自然条件で変動する太陽光発電で安定供給を果たす蓄電システムに磁性流体シールを供給

1. 業績報告

(1) 決算の概要

(2) 17年3月期の業績予想

2. 各事業別の取組み

(1) 自動車・建設機械業界向け事業

(2) 一般産業機械業界向け事業

(3) 舶用業界向け事業

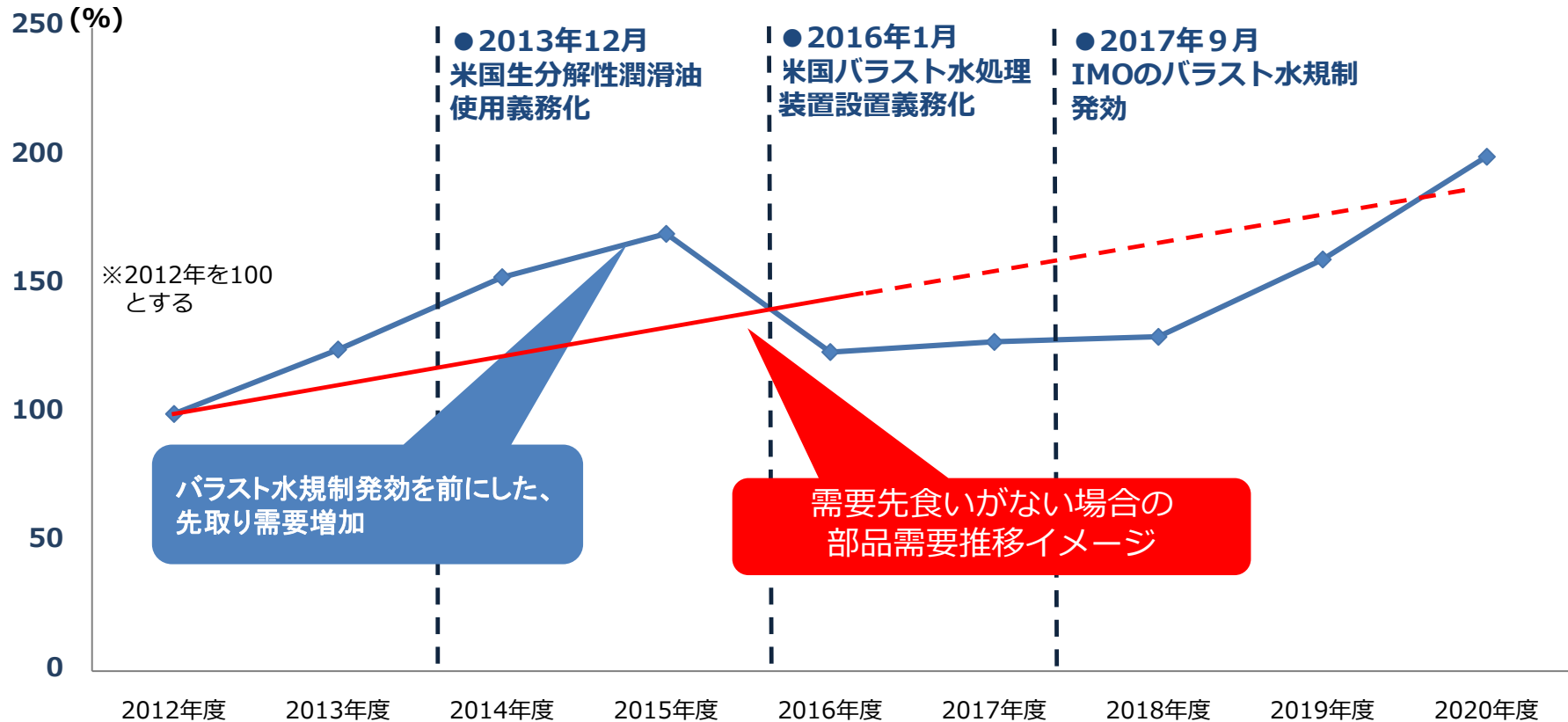
(4) 航空宇宙業界向け事業

◆海運・造船大不況の影響

- ・海運・造船大不況及び海外造船所の信用不安による新造船キャンセル&引渡し延期の影響から新造船向け製品の販売も減少
- ・競争激化による値引き額増加、製品販売価格の低下

◆船舶バラスト水規制管理条約発効による駆込需要の反動

◆為替の影響による収益低下



15年度までは環境規制発効前の当社部品需要の先取り分が販売に貢献
16～18年度にかけて需要調整となる見通し

1. 業績報告

(1) 決算の概要

(2) 17年3月期の業績予想

2. 各事業別の取組み

(1) 自動車・建設機械業界向け事業

(2) 一般産業機械業界向け事業

(3) 船用業界向け事業

(4) 航空宇宙業界向け事業

11月2日：H-IIAロケット31号機・
静止気象衛星「ひまわり9号」打上成功



©三菱重工業

H-IIAロケット31号機



©JAXA

静止気象衛星「ひまわり9号」

12月9日：H-IIBロケット6号機・
HTVこうのとり6号機 打上予定



©JAXA

H-IIBロケット



©JAXA

LEシリーズ
エンジン



©JAXA

HTV
こうのとり6号機



◆ロケット、LEシリーズエンジンターボポンプ：
メカニカルシール、各種シール、バルブ類 納入



◆「ひまわり9号」・HTV
タンク、バルブ類、フィルター、レギュレーター、圧力センサ

